

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年7月25日

【評価実施概要】

| | |
|-------|--|
| 事業所番号 | (評価機関で記入) 3 4 7 4 6 0 0 2 0 6 |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 高齢社会を生きる会 |
| 事業所名 | グループホーム「安田いこいの家」 |
| 所在地 | 広島県神石郡神石高原町安田677-1 (電 話) 0847-82-0560 |

| | |
|-------|-------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト |
| 所在地 | 広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9 |
| 訪問調査日 | 平成21年7月21日 |

【情報提供票より】(21年 7月 9日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|--------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 18年 1月 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人 |
| 職員数 | 14 人 常勤 10人, 非常勤 4人, 常勤換算 9.2人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|------------|-----------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り | |
| | 2 階建ての | 階 ~ 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--|----------------|--|-------|
| 家賃(平均月額) | 24,000 円 | その他の経費(月額) | 11,700 円 | |
| 敷 金 | 有(円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000 円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> | 有りの場合 償却の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 300 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 100 円 |
| または1日当たり 円 | | | | |

(4) 利用者の概要(7月 9日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 7 名 |
| 要介護1 | 0 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 0 名 | | |
| 要介護5 | 2 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 84.6 歳 | 最低 | 72 歳 | 最高 | 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------------|
| 協力医療機関名 | 町立神石三和病院・三原医院・塚本歯科医院 |
|---------|----------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

| |
|---|
| グループホーム「安田いこいの家」は、山里の旧小学校の建物を改造して作られたホームで、国道近くであり、広い敷地に建っている。法人としての理念は「地域福祉の発展・住みやすい町づくりの推進」を掲げておられ、地域にとけ込んでおられる。1ユニットということもあり、家庭的な雰囲気を持った穏やかなホームである。 |
|---|

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | <p>昨年4月に小規模多機能事業所を立ち上げたことにより、地域との関わりがより強くなった。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>近くにある広いグラウンドにおいて地域の方と一緒にグラウンドゴルフに参加して、楽しんでいる。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の参加者の中に自治振興会の班長、安田福祉会、安田老人会、知見者等、地域の方が多く参加されていて、地域に開かれたサービスとして取り組まれている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>職員全員で取り組まれている事は、生活訓として「いつも笑顔で心が通う 居心地良好のんびりゆったり いこいの家」を心情とされている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>まめまめクラブを作っていて、介護予防や認知症予防に力点を置き、料理教室や講演会を開催して、地域に貢献されている。</p> |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-------|-----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 当法人の理念、そしてグループホーム安田いこいの家としての理念を掲げている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | いつも笑顔で心が通う 居心地良好 のんびりゆったりいこいの家 を生活訓とし、心がけている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域のゆきふるさと祭りに出店(栗おこわ、飲み物、花苗等)したり、地域の方とランドゴルフやカラオケお披露目会等で交流している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | ミーティングの時に話し合ったり出席できなかった職員は回覧し、評価を活かす取り組みをしている。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の参加者は、利用者、利用者家族、自治振興会の班長、安田福祉会、安田老人会、知見者、神石高原町職員(包括支援センター職員)。地域に開かれたサービスとして質の向上を計ることを目的として取り組んでいる。 | | 会議の内容をもっと充実させ、工夫するように検討中。 |

グループホーム「安田いこいの家」

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 町役場の担当者と常に情報交換し、協力体制がある。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者一人ひとりに担当職員制となっており、2ヶ月に1回は近況を書いた手紙を請求書と一緒に送付したり、面会時に伝えている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見・苦情等はミーティングで報告し、話し合っている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職は少なく、異動も必要最小限にしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修は順次、皆が参加している。研修を受けた内容はレポートにまとめ、月2回のミーティング等で皆で共有する事により、スキルアップを目指している。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は「高齢者問題研究会」に、ケアマネージャーは「介護支援専門員連絡協議会」に所属し、参加している。 | | グループホーム相互の交流が出来ることを期待します。 |

グループホーム「安田いこいの家」

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|---|-----|----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>サービスを開始する前に入所希望者や家族の希望や意向をよく聴き、ホームを見学することで雰囲気を知ってもらう。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>利用者の喜怒哀楽に関心を寄せながら傾聴し、利用者から生活の技等を学ぶこともある。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>日々の関わりの中で把握して、ケース記録に記し、ミーティングで検討している。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>介護計画は、利用者、家族の意向を聞きながら、職員の意見に基づき、利用者主体の暮らしに反映したものを作成している。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画は、6ヶ月毎に見直されている。又、状態が変化した際には、その都度、見直しを行なっている。</p> | | |

グループホーム「安田いこいの家」

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---------------------------------------|-----|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 小規模多機能事業所を併設され、より地域密着型の支援をされている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の受診は、職員が本人や家族の希望に応じて対応している。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 「看取りに関する指針」を家族に説明し、職員全員で方針を話し合っている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人ひとりの気持ちを大切に、プライバシーを確保する取り組みをしておられる。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら支援をしている。 | | |

グループホーム「安田いこいの家」

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|-----|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の方が交替で「いただきます」の声掛けで食事が始まり、家庭的な雰囲気職員も一緒に楽しく食事をされている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日、バイタルチェックをしたあと、午後より入浴となっているが、タイミングに配慮している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | レクリエーションにトランプやかるたカラオケ等をして楽しく過ごされている。又、ドライブやグランドゴルフで外へ出る機会が多くなった。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 草取り、散歩、買物、季節の行事等を積極的に行なっている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は、玄関の鍵をかけない。玄関の前に事務所があり、見守りにも目が届く。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 毎年、避難訓練を実施している。地域との協力体制がある。 | | 今後、スプリンクラーの設置を予定している。 |

グループホーム「安田いこいの家」

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|--|---|-----|---|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 生活リズム、食事量、口腔ケア、排便チェック表で記録している。 | | 一日の水分接種量は1,000～1,500ccが望ましい。お茶ゼリー等の工夫もされている。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広い廊下や居間の壁には、利用者の方の書や写真等が掲示されている。又、居間には昼寝が出来る量があり、ゆったり、居心地よく過ごされている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は広く、ベット等が置かれている。 | | 利用者にとって使い慣れた馴染みの物を傍に置くことで本人にとって安心して過ごせる自分の居場所となる。 |